



# 済戸部落で経営診断 四食

## 二早と二毛作を奨励 労力配分で增收図る

平農政長普及所では経営改善の促進に、四食間長及済戸部落の農業経営診断を行なった。済戸部落では、本年一月から生活改善グループを組織し、家計簿の記帳をはじめ、六割の戸が兼業農家であること、早稲作を奨励するべき点が多く、早稲作の増産は現在の三割普及を更に増加する。

済戸部落は、九十一戸を有する。早稲作を奨励し、耕地は水田一・七五畝、畑地による水稲の増産ととも、早稲作の増産を奨励する。早稲作の増産は、早稲作の増産を奨励する。早稲作の増産は、早稲作の増産を奨励する。

▽収入 専業農家は年間二十六万五千円程度で、三十三万五千円が平均額。三十三万五千円が平均額。三十三万五千円が平均額。

▽支出 専業農家は年間二十六万五千円程度で、三十三万五千円が平均額。三十三万五千円が平均額。三十三万五千円が平均額。

# 食肉用へ大転換

### 化繊進出とブタ肉不足で 平市めん羊組合が計画

肉用羊の切り換えを急ぐことを決議する。同日は過年度報告ののち、五年年度計画を立て、後員の改善を行なうが、緊急問題としてめん羊飼育の食肉移行運動を急ぐことになった。

▽北川 小野(再) 三〇〇〇  
▽小川 萩野(再) 二〇〇〇  
▽上高久 大和田(再) 一〇〇〇  
▽菅波 庄内(再) 一〇〇〇  
▽大浦 田中(再) 一〇〇〇  
▽大野 木村(再) 一〇〇〇

# 頼光



大江山酒天童子 入賞作品

【銀賞】 平二小四年 上野 信男

【銅賞】 平五小六年 伊藤のり子

【解説】 描画材料が豊富で表現力が強い。細部は丁寧に描かれている。努力作品、想像力が豊かである。(湯山 二枝)

### 市況 (単位:円)

(二十二年後) 二十三年(再)

▽小名浜産 鹿野船七 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船八 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船九 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十一 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十二 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十三 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十四 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十五 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十六 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十七 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十八 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船十九 七五〇  
▽小名浜産 鹿野船二十 七五〇

### 野菜 (単位:円)

▽ホウレン草 七三(東)  
▽ナガイモ 三二(東)  
▽タマネギ 一〇五(東)  
▽大根 二七(東)  
▽ゴボウ 一〇五(東)  
▽ニンジン 七〇(東)  
▽キャベツ 一三五(東)  
▽白菜 一三五(東)  
▽サトウモロコシ 一三五(東)  
▽カボチャ 一三五(東)  
▽ピーマン 一三五(東)  
▽ナス 一三五(東)  
▽トマト 一三五(東)  
▽キュウリ 一三五(東)  
▽オクラ 一三五(東)  
▽ズッキーナ 一三五(東)  
▽パプリカ 一三五(東)  
▽ピーマン 一三五(東)  
▽ナス 一三五(東)  
▽トマト 一三五(東)  
▽キュウリ 一三五(東)  
▽オクラ 一三五(東)  
▽ズッキーナ 一三五(東)  
▽パプリカ 一三五(東)

### 平地区4日 平地区の4日の総会

Hクラブで開かれ、水揚げなし

▽高久 鈴木(再) 一〇〇〇  
▽中カサ 千八百七十七 六八  
▽四〇ナメタ 三百八十 八  
▽八四〇

### 孫の願い 祖父の願い

長 沢 一 松

その後継からお孫さんになりたいたいという話、は聞かないが、大学には入りたいといっている。祖父より父に受け継がれた願いが、お孫さんになりたいたいといっている。お孫さんになりたいたいといっている。

### くらし 随筆

子供も男ばかり三人となる。お孫さんになりたいたいという話、は聞かないが、大学には入りたいといっている。祖父より父に受け継がれた願いが、お孫さんになりたいたいといっている。お孫さんになりたいたいといっている。

天婦羅 月夜家

平市 電話 三〇四

平代表 おみやげ品

銘菓の店 金澤屋

平市 二島 電話 三三七

うなぎ

割烹 栄

平市新田町 電話 四〇六三



